

鑑定方針ケーススタディ

鑑定方針ケーススタディということで解説していきます。

メール鑑定のやり方でも説明している通り、鑑定というのはですね、**逆算**なんですね。

つまり、お客様が求めている言葉、結論ですね、1つの正解のようなものってというのがもう決まっていますね、鑑定をする前に、カードを引く前にですね、もうすでに答えがあって、そこに向けて、こうタロットカードのキーワードを解釈していく。タロット占いの場合はですけども、結論ありきで、その言葉選びというか、どういうふうにこう言い回していくかという部分で、タロットカードを使っていく。で、お客様からしたら、あ、そのカードが出て、こういう解釈だからという、その説得力というか根拠になるということなんですね。

なので、お客様の相談文を読んだ時点で、そのお客様がどういう言葉を求めているのかとか、どういうことを言ってほしいか、そのどちらに背中を押してほしいのかということを読み取って、そこにこう向けて鑑定文を書いていくってということなんですけども、ただ相談文を読んだだけで、その答え、お客様がどう言ってほしいのかがわからないということももちろんあると思うんですね。

よくあるその困るパターンていうのが、

- 選択肢が2つ以上あるとして、どれに背中を押してあげたらいいか、相談文を読んだだけでわからない場合
- あとはですね、困るパターンが、客観的にこう、お客様の状況を見て、すごいもう絶望的

音信不通系とかね、もうずっと連絡が取れないとか、連絡が来ないだけじゃなくて、もうその手段がないみたいなね。LINEとかSNSもブロックされてるようだと、連絡を取る手段もないんだけど、もうずっと待ってるみたいなね、こう、状況的にもう絶望的とか。あと、不倫系の場合とかも、そういうパターンってあるんですけど、もうにっちもさっちも行かないみたいなね、状況の場合は、やっぱりこう、大丈夫ですよ、待てれば連絡来ますよと言ってもね、なんかもう、気休めにしかないし、お客様にも、なんかやっぱ、本当っていうね、そうなのかっていう、そのね、なんて言ってあげたらいいかわからないみたいな状況が、やっぱり結構、鑑定では困るパターンとしてあるかなというところですね。

で、じゃあ、そういう場合はね、どういう風に書いていけばいいかということで、まず、**どちらに背中を押せばいいかわからない**というようなパターンについてですね。

で、これはですね、その選択肢が複数あるとして、2つあるとしてですね、そのどっちがいいですか、どちらの選択肢がいいですかと、お客様はその答えをね、求めているっていうわけなんですけども、その相談文を読んで、どちらに押してほしいのか読み取れた場合はね、もちろん、そっちの方向に押してあげればいいだけなんですけども、そうじゃなくって、どっちに押せばいいかわからない場合は、その**どっちつかずのね、感じで書いてあげる**っていうやり方が、やっぱり無難なところでして。

で、具体的には、例えば、AとBの選択肢でこう迷われているという場合はですね、例えば、その2者択一のスプレッドというか、2者択一という方法で占ってみましたみたいな感じで。で、Aの選択肢のいい面はこういうところ、悪い面はこういうところですよ、一方、Bのいいところはこういうところ、悪いところはこういうところですよ。

で、一応ね、出たカードから言うと、こちらの方が良さそうですということを、もちろん言ってもよくて、言えそうだったら、ですけども。で、今、すごく、こ、難しい選択をしているみたいな選択肢の場合は、言わなくてもいいんですけど。で、その、私がよく言うのは、**最終的に選ぶのは、そのお客様自身ですよ**ということで、占いの結果はあくまでも占いですから、この鑑定結果をね、読んだ時にお客様がどう感じたかっていう、そういうお客様自身の心の動きにも注目していただいて、その判断材料の1つとして、あくまでも占いの結果に従うのではなくて、お客様の判断する材料の1つとして捉えてくださいというような言い方を私はいつもしてますね。

これは、私のその本音というか、かなり本心に近い部分でもあって、結局、私なんか個人的には占いとかあんまり信じてないですし、スピリチュアル系もそうなんですけど、なんか自分の大事なことを占いで決めようとかは全く思わない人なんですけど、ただ、その人に意見を聞いたときに、やっぱりそこうした方がいいんじゃない。って言われて、いや、やっぱりそうは思わない。みたいな。その人の意見を聞くことによって、自分の気持ちに気付くってということってあると思うんですね。

そういう意味では、占いを活用するっていうのは、普通にその選択肢の1つとしてありだと。それは、あの、今は普通にそう思っています。私も。なので、私は自分が鑑定するときは靈感とかは売りにしていないし、お客様自身のその考えを整理したり、気持ちとかを整理するために占いを賢く使ってくださいね、みたいなスタンスではやっているんで、私としてはそういう風な書き方にしています。なので、ちょっとこの書き方がね、靈感とか霊視とか透視とか、そういう系だと、やっぱりズバッとね、答えを出してあげないといけなくなっちゃうと思うので、ちょっとそれだとね、使えないかもしれないんですけど。

いずれにせよ、その賭けでね、どっちに押そうとかいうよりは、その、どちらの良し悪しも言ってあげてですね、あとは、その、AさんかBさんかみたいな、お付き合いするの、どちらがいいでしょうか。みたいな場合も、そのAさんのいいところはこういうところで、よくないところはこういうところみたいなね。で、Bさんもしかりで、結婚するなら、こちらの方が相性がいいとかね、恋愛なら、こちらの方が相性がいいみたいな、そういう言い方にしてもいいと思いますし、その、断定しないで、どちらのメリット、デメリットも書いた上で、その最終的に選ぶのは、そのお客様自身ですよ、という感じで、言ってあげるっていうやり方ですね。

で、その2択、よくある2択としてですね、別れたいのか、待ちたいのか、その次にもう別れて次に行きたいのか、その、絶対その人と復縁したいのか、みたいなね。音信不通とか浮気とか不倫とか、そういう場合の選択肢。あとは、その仕事系でも、どちらの仕事がいいかみたいなね。転職活動とかしていて、どっちの道がいいかみたいな、そういう2択の場合って結構あるんですけど、どちらに押してあげたらいいかわからない場合は、もう**お客様に事前に聞いてしまう**という選択肢も一応ある。

で、その直球質問みたいなのはね、そのお客様も自分でどうしたらいいかわからないから聞いているわけなので、どうしたいですか。って聞いちゃうと、なんだこいつ、占い師なのに分からないのかっていうね、ことになっちゃうので、私なんかは、あんまり事前にね、細かく質問はしないんですけど、聞くとするならば、その、その、**お客様の理想の未来はどんなものですか。**とか、あとは、の仕事とかだったら、何を重視するかとか、経済的な、給与面のことなのかとか、それとも、そ、やりがいのことなのかとかね、そういうのも含めて鑑定してあげた方がね、もちろんいいんですけど、ちょっと聞いて聞いちゃうっていうやり方。

あとは、恋愛系で言うと、別の講義でもね、このテクニックが結構使えそうということで、その**お相手にね、伝えたいことがあったら、そのお相手に語りかけるような感じで、そのメッセージをお願いします**みたいなね、感じにすると、そのお客様の本心がわかったりする場合もあるっていうのと、あとは、その、鑑定前に、その相談を承りましたみたいなね、ここ、こういう状況なんですねっていう、その共感パートですね。そのお客様への寄り添いの言葉を添えるときに、その、今、お辛い状況ですよって感じで、で、連絡が取れないと、そのお客様の気持ちもわからなくて、どう動いていいかわからなくて、辛いですよねみたいな感じで、言った時に、そうなんですって、せめてね、直接言ってくれば、私もその気持ちがね、整理できて吹っ切れるのに、みたいな感じで。その会話のやり取りの中で、このお客様は、結構、その、もう踏ん切りをつけてね、次に行くという選択肢もあるんだなっていうのが分かったりとか、そういうこともありま。

なので、その、事前に質問とか、そのコミュニケーションすることによって、ちょっとこう、お客様の本音の部分というかね、どうしたいのかが見えてくるっていうことはあります。

あとは、その**数秘のパターン**、お客様が何番の人なのかっていうところから推察するとかですね、これはもう、文面とその数字の結果合わせてって感じで、その鑑定をね、重ねていくと、こう、こういうジャンルの悩みは何番の人が多いなみたいな、その経験則というかね、いうのがちょっと立ってくることもあると思うので、そういうものも参考にするっていうことですね。情報が少ない場合ですね、その鑑定文からの情報が少ない場合は、そういうところで補っていくというようなところもできます。

で、あとはですね、**どっちに転んでもいいように書く**っていうのがやはり常套手段と言いますかですね、さっきのその2択の例もそうなんですけども、どっち、そのどちらの選択肢もありですよっていう感じで言ってあげて。

で、そのお客様っていうのは、その、複数の解釈を書いてしまうっていうのもそうなんですけども、そのお客様は、当てはまるどころだけ、やっぱり、その、そうかとか、当たってるとか、当てはまるなとか、気づきがあるなっていうことで、あんまり、当たってないというか、外れてるというか、そんなことないんだよなっていう部分は、もう読み飛ばす、あんまり、こう、そこをに注目しないというか、スルーされるっていうところがありますので。占いて、大体そういうもんなんですけども。

なので、なるべく、こう、複数の選択肢というか、言葉数多くして、どれかこれかお客様に響くようにっていうような書き方をするのも、テクニックと言いますか、書き方の1つです。

てことで、例えばね、別れたいのか、待ちたいのかみたいな、どっちに押してあげたらいいかわからない場合ですね。

はそ、このまま待つことに希望はありますと、その希望もあるということを言ってあげて、安心させてあげる。その待ちたい場合の保険といいますか。

で、ただ、その、思い切って次に行くのも1つですよってということで、もう、どっちなんだよって。結局ね、その答えは出てないんですけど、それを読んだ時に、お客様が自分に当てはまる方を勝手に読んでくれて、わかりました。って答えが出ました。みたいな感じになりますので、そういうような書き方をするのが、一応1番無難というか、いいかな、いい書き方なんじゃないかなというところですね。

で、その複数の解釈を書いてしまうっていうのは、その彼の気持ちとか、そのお客様へのアドバイスとして、カードを引いたら、このカードが出ました。で、このカードはこういう意味があるので、その今の状況に当てはまる、当てはめて考えるとこういう解釈もできますと。

ただ、そのタロットって、その逆位置とかもあるし、真逆の解釈っていつでもできちゃうんですよね。

なので、ただ一方で、こういう風な読み方もできますと。で、お客様のお気持ちとしては、どちらのものが近いでしょうか。それがお客様の答えです。みたいに書いてしまってもいいです。そういう書き方をね、する時もあります。私も。これがそのカード、カードからのメッセージです。で、カードのその解釈をするのが、その私の仕事。だから、私が私って、その占い師が全てそのお見通しなわけじゃなくって、そのお客様と一緒に出了たカードから考えていきましょう。みたいなスタンスでやっていると、こういう書き方もやりやすくなるっていうことですね。

で、次、**客観的に見た状況が絶望的**っていう、その、音信不通系とか、不倫とか、そういうパターンなんですけども、これ系はやっぱり難しくてですね、連絡きますよと言ってね、いつですか。とか言われちゃうと、なんか難しいんですよね。で、復縁できますよとか言ってもね、気休め感が半端ないみたいな。その、お客様にもそれがわかってちゃうし、あと、その結果として、外れる、外す可能性っていうのも高くなっちゃうと思うんですね。その、客観的に見て、いや、もうそれ彼はもう忘れてるだろうみたいなね。お客様はずっと期待して待ってるんだけど、彼はもう忘れてんじゃないの。とかね。

あとは、その、音信不通を繰り返す人って結構いるみたいでね、お客様の相談乗ってると、何ヶ月単位とかで、その、連絡取れなくなるとは、たまに連絡が来て、みたいな、その繰り返しみたいなね。

そういうパターンがあると、やっぱりその、個人的にはね、それでいいのかって思っちゃうんですけど、お客様のそういう状況の場合は、やっぱりその**気持ちへの寄り添い**っていうところがメインにはなってきますね。だから、その、鑑定で何か答えを出すとかね、言うよりは、もうその、お客様の気持ちに、その共感したり、寄り添うところに終始するっていうことで。

で、お客様もね、やっぱりその状況っていうのは、どこまで自覚しているかはわからないですけど、本人もね、わかってる場合っていうのももちろんあるんですよね。

なので、あんまり当たり外れというよりは、話を聞いてくれるだけでありがたいなっていうよう

な場合も多いんですよね。多分ね、友達とか身近な人に相談してもね、そんな彼氏やめときなとか言われちゃうから。自分の気持ちをね、それでも待ちたいとか、そういう気持ちを誰もわかってくれないみたいな孤独感もありますし。不倫の場合とかだと、なおさらね、相談する相手もないっていうことで、毎回毎回ね、自分の愚痴とかね、そういう弱音とか、そういうものに対して、励ましてくれたり、寄り添ってくれる存在っていうことで、リピートされたりもしますの。

なので、言ってあげることとしては、その**希望は捨てないでいい**ということと、待ってるだけじゃなくって、**何か動かないと状況は変わらないんですよ**ってというような、ちょっと、その、保険ですね、その希望が残されているということを伝えることによって、その連絡が来なかったら、占いが外れたってことになっちゃうので、その**条件付け**です。その、メール鑑定のやり方のところでもね、説明してるんですけども、お客様も変わっていかないとダメっていうことを条件付けて、で、希望は残されてますよってというような言い方が精一杯できるところかなっていう感じですね。

で、その、書くとするならばね、リピートのお客様じゃなく、初めてそういう鑑定が来た場合はですね、今すぐ、3ヶ月以内とかに連絡が来る可能性は、あまり高くないようですよっていう、ちょっと濁した言い方ですね。

で、**恋愛以外のことに目を向けて、今は、今できること**、その連絡を待ってる間とかね、恋愛に動きがない状況の間の、その上トークとして恋愛以外のことに目を向ける、結構その、恋愛恋愛になっちゃってね、その、そのことばかり考えて、今日連絡が来るから明日連絡が来るかみたいなになっちゃってる女性って、魅力的にはやっぱり半減してる状態。すごい負のオーラというかね、普通にそういう状況だと思えるんですよね。ネガティブな、あの感じにどんどん陥っちゃってるっていう状況なわけなので、今は恋愛じゃなくてね、今は、今できること、仕事に打ち込むなり、趣味とか、その趣味がなければ新しく何か見つけるとかね、とか、自分磨き、自分磨きと言って何を指すのかっていうのはお客様の捉え方次第なんですけども、そういうものをつつ、待ちましようということをお伝えする。

で、そうすることによって、その、あなたの魅力がアップすると。で、その、恋愛をね、置いて、そのほかのことで、その、キラキラね、輝いていると、その、前向きな気持ちになって、その運気もね、上昇してきますよ、というような、ちょっと言い方がね、便利だと思うんですけど、だし、実際そうだと思うんですよね。もうずっとこう、頭の中が、その、連絡が来ない彼のことでいっぱいになってしまって、彼、彼氏、彼じゃなくてね。男性の場合は、女性、彼女のことばかりになってしまうと、すごいネガティブスパイラルにハマってしまうんだけど、他のことにね、今、今できることに目を向けましようということ。

もちろんね、その、恋愛運アップするために、こういうことができますよ、みたいなことをご案内してもいいんですけども、とかね。場合によっては、その物販、何かこう、運気が上がるものとかをご紹介しますのも、もちろんやり方としてはあると思うんですけども、そう、そうじゃなく、その他のことでね、前向きに何か打ち込むことによって、その人間としての魅力がアップする。で、その気持ちもね、なんかこう、自信もついて、キラキラ輝くことによって、恋愛運だけじゃなく、全体的な運気が上昇するという感じでね。

で、もしかしたら、そこで新しい出会いがあるかもしれないということまで、場合によっては書いてもいいんですけども、その新しい出会いがあつてね、すごいその新しい恋、恋で、すごいこう、うまくうまくって、その頃には、今待ち続けているね、その彼のことなんて目じゃなくなりますよぐらいに、場合によっては言っただけでもいいと思うんですね。もちろん、言葉は選びながら書いていただきたいんですけど、実際に書く場合はですね、そういう方向性で書いてあげるのが1つの方法ですね。

で、その**鑑定の方向性を考えるポイント**としてですね、ちょっとこう、どう書いていいか迷うような場合ですけども、

- まず、その**お客様が本当に望んでいること**を叶えたい、希望、不安に思っていることは何なのかっていうことをよく考えてみる。例えば、連絡待ってる状態だとして、どうしてもその彼じゃないとダメなのか。もしくは、その、誰でもいいんですけども、そのいいお相手がいれば誰でもいい。誰でもいいって言うと語弊があるんですけど、すごくこう、1人でいるのが寂しくて、パートナーが欲しい。で、たまたまその直近の彼とうまくいってないから、よりを戻したいって言うのか、それとも、なんかその、他に、付き合いおうと思えば付き合う人はいるんだけど、どうしてもその彼がいいっていう場合ももちろんあるわけですね。そういう場合は、思い続けてるだけでいいっていうか。

例えば、なんかこう、昔に付き合ってた彼とかね。まあ、で、その、お互いもう結婚してて、結ばれることはないんですけども、どうしても忘れられないとか、そういうお悩みもあるんですね。

そういう場合は、もうそのお相手も本当は同じ気持ちですみたいな感じのことを言っただけ。実際にね、会えない状況なんだけど、その魂の結びつきとしては、すごくこう、深い絆で結ばれていますみたいな感じのことを言っただけの場合ももちろんあるし、そうじゃなくて、その状況的に元彼に執着してるんだけど、別にいい人がいれば他でもないいいっていう場合は、また言葉選びも変わってくるっていうわけだね。そのお客様がほんとに望んでいることとか、なりたいたい姿みたいなのを、何なのかなっていうのは、すごくこう、考えてみてください。で、もちろん、分からないかもしれないんですけど、考えることが大事なので、で、そのお客様自身もね、気づいてないことももちろんありますので、お客様の相談文の、その上辺だけの言葉を、字義通りに受け取らないってことも大事で、そのお客様はこう言ってるんだけど、ほんとなのかな。っていうところでね、その深いところを意識して鑑定すると、より良い鑑定に繋がると思います。

- で、鑑定文を書いたらですね、その**鑑定文を読んだお客様が明るい気持ちになれるか**、感情がこうプラスになるかどうかっていうのを、必ず読み直して確認してください。お客様の気持ちが明るくなったり、元気がでたり、私、大丈夫そう、もうちょっと頑張れそうと思えるようなね、その、救いのある内容になってるかっていうね。ことで、どうしても、なんかこう、絶望的な状況の場合とか、あとは、その、占い師の主観が入っちゃうとね、そんなやつやめとけよみたいな、そんなにね、我慢するのが恋愛じゃないよみたいなね、もっと大事にしてくれる、お客様を大事にしてくれる人と出会った方が、絶対幸せになれるよってね、思ったりするんですけど、それはやっぱりね、押し付けになっちゃうので、占い師のね、そうじゃなくて、その時、やっぱり、お客様が元気

になれるように、で、その、リピートしてくれたらね、お客様がリピートしてくれたら、だんだん、なんか、占い師の考えに近い方に、なんかこう、誘導じゃないですけどね、こう、思い直してというか、考えが変わっていくお客様っていうのも、もちろんいたりするので、とか、それこそね、高額、そのバックエンドで、そういう、なんか、潜在意識の書き換えじゃないですけど、なんか、本当に愛されて幸せになれるための、なんか、その、マインド、マインドセットみたいな感じのコースをね、組むとかね、そういうアイデアももちろんありますが、とにかくその1つ1つの鑑定においては、目の前のお客様がの明るく明るい気持ちになれるかどうかというところを主眼に置いてですね、やるといいと思います。そうじゃないとリピートにも繋がらないのでね。

この占い師さん、なんかこう、温かい言葉をくれるなとかね、気持ちに寄り添ってくれるなっていうところの信頼関係がやっぱり大事なので、個人の意見の押し付けにならないようにっていうのは気にしていただいて、その、読み返してください。

でも、**どうにもならない状況**っていうのがやっぱりあるんですよね。不倫のお悩みとか、そ、忘れられない恋みたいなやつとかね、そういう場合は、やっぱりもう寄り添い、もうとことん寄り添ってくしかないんですけど、例えば、その、言える案としては、アイデアとしては、

- もう、ここという結果をね、お伝えできたならよかったんですけども、カードの、その、出たカードの結果から言いますと、そういう結果にね、今回じゃなくて、**私としても心苦しいです**みたいな感じで、なんかもう、占い師としてもね、その、お客様に、すごく、こう、同情しますよみたいな、これがその、占いのね、便利なところなんですけど、占いのせいにするっていうか、その、占いとしては、こういう結果になってしまいましたみたいな感じで、もう、むしろ、ごめんなさいみたいなね、スタンスで、こういう結果が落ちたここ、こういう理想の結果になったらよかったなって、私も思ってますみたいな、あなたの味方ですみたいなね、言い方をするっていうのも、1つあります。
- とか。あとは、言えることとしては、その、お客様のね、抱えてる問題っていうのは、すごく**複雑な問題です**と。で、複雑な問題ってね、言われたがってる人って、結構いるんですよね。占いに來てるお客様で。

でも、複雑なお悩みをね、結構扱ってると、ちょっとやそっとのことじゃね、複雑だになって、もう占い師としては思わなかったりするんですけど、お客様としては、私のその抱えてる問題ってすごく複雑、人にはなかなかわかってもらえないって思っているところがありますのでね、お客様の抱えてる問題ってすごく複雑でね、解決、スッキリ解決するのは大変なんですけども、もうそれだけね、お客様がこうして占いに來てくださってね、****真剣に人生に向き合っている、そういうお客様の姿はもうほんとに素敵です。***という感じで、ちょっと褒めてあげて、ちょっとでもこう、慰めになるようにっていうかね、そういう言葉を添えてあげるとか、

- その、叶わぬ恋というか、なかなか難しい恋の相談とかの場合は、なかなか叶わない相手なんだけども、そういう、**それだけね、思える相手に出会えたということだけでも、すごく、こう、幸運なことですね**みたいに言ってあげるとかですね、

何かしらの、その鑑定内容では添えない部分をカバーするような、寄り添いの言葉ですねっていうのを、工夫してかけてあげてください。

そうすると、やっぱりね、その、鑑定内容じゃなくて、内容の部分じゃなくてね、この占い師さんにお話できてよかったなとか、安心だなんてね、思ってもらえるのでね。そうするとリピートもされるので、こういう部分を大事に文章を書いてみてください。

で、ここから、**ケーススタディ**ということですね、実際に私がいただいた相談で、ちょっとこう、難しかったなとか、書き方工夫したっていうような事例を挙げていくので、参考になっていくことなんですけど。

で、一応、その頂いた感想からね、いい感じの鑑定ができた判断できたもの。もちろん、私もね、100発100中で、なんかこう、すごいお客様に響くことを言えるわけではないので、一応、その頂いた感想からね、いい鑑定だったと裏が取れたものを紹介していきます。参考になっていくことで、ちょっと聞いていただければと思います。

(※ここから複数の具体的な相談事例、鑑定方針、鑑定文抜粋、お客様の感想が続きます)

【ケーススタディのまとめと補足】

お客様の答えって、大体はもうお客様の中でほんとは決まってるんですよね。

お客様もわかってない場合もあるんですけど、本人も自分ではわかってるけど、最後に一押し背中押してほしいみたいな場合ももちろんあるんですけども、とにかく、**そのお客様の中で答えはもう決まっていると仮定して。で、できるだけそこに近いベストアンサーを目指していこう**っていう感じなんですよ。

もちろんね、なかなか、その打率というか、あげてくのに、経験とか、その慣れみたいなものが必要にはなってくるかなっていうところではあるんですけど。ただ、最初から意識してね、その占いの結果ありきなのではなくて、お客様の答えありきで、占いの結果を寄せてくんだっていうところをすごく意識して。

で、あとは寄り添いと共感の言葉っていうところを意識するだけで、かなりね、その満足度の高い鑑定というのは、かなりの打率でできることなので、もう意識するかしないかだけの問題なのでね、そのお客様の答えが決まってて、そこに寄せてくという意識はいつも忘れずにっていうことで。

あとはですね、いい感想をいただけたとしても、心から満足してるとは限らないっていうことも一応念頭にとって。今回ね、私が紹介してきた事例はか、いただいた感想からして、本当に満足していただけたかなと思ったものをね、ピックアップしてるんですけど、やっぱりまともなね、お客様であればあるほど、すごく丁寧に鑑定してもらったらね、なんか違うなって思っても、ありがとうございます。すごいなんか参考になりました。とかね、前向きになりました。みたいな、なんか、そういうことは言うんですよね。礼儀としてですよ。

なので、なんかいい感想だなんていうことが、本当にね、満足していただけたかどうかっていうのは、それだけでは測れない。ただ、その、**リピートをされたら、それはね、もう本当に、前回の鑑定に満足していただけた**とか、その、あなたのことを、すごくもう信頼して、頼ってくる、次からもお願いしたいっていうことなので、リピートされて初めて、その、いい鑑定だった

んだなっていう裏付けにはなるってということで、1つの参考になってということでね、していただければと思います。

てことで、鑑定方針についてですね、解説してきたんですけど、私のその鑑定分がね、必ずしもベストアンサーとは限らないですし、の、各々のね、占い師のキャラクターとか、打ち出しているそのスタンスによっても変わってくると思いますので、参考になってということでね、捉えていただければと思いますので。ってことで、今回は以上です。ありがとうございました。

